

【(新)基本目標1】

基本目標	基本目標指標	基準値	目標値	目標値設定の説明
“ひと” 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち	出生数	1,820人 (2019年度)	1,890人 (2021~2026年度平均)	第2期人口ビジョンにおける将来人口の推計値及び合計特殊出生率の目標値から算出
	加古川市が子育てしやすいまちと感じる市民の割合	—	70.0% (2026年度)	70.0%を目標値とする

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	目標値設定の説明
(1)安心して結婚・出産できる環境をつくる	婚姻数	1,163件 (2018年)	1,270件 (2026年)	合計特殊出生率が1.56であった平成27(2015)年の婚姻率(人口千人あたりの婚姻数)5.0を目標とし、将来人口(令和8(2026)年)の推計値から算出
	不妊・不育症治療費の助成件数	500件 (2019年度)	600件 (2026年度)	所得制限の緩和等による利用者増の他市実績と、令和2(2020)年と令和7(2025)年の20~44歳女性人口を比較した際の推計値から算出
(2)安心して子育てができる環境をつくる	待機児童数	61人 (2020年4月1日時点)	0人 (2027年4月1日時点)	待機児童数ゼロを目標値とする
	子育てプラザの利用者数(延べ人数)	139,955人 (2019年度)	152,000人 (2026年度)	就学前児童の施設利用及び在宅の状況予測から算出
(3)魅力的な教育環境をつくる	学校に行くのが楽しいと思う小中学生の割合	86.4% (2019年度)	95.0% (2026年度)	95.0%を目標値とする
	CEFR(セファール) A1レベル相当以上を取得しているあるいはA1レベル以上の英語力を有すると思われる中学校3年生の割合	43.9% (2019年度)	60.0% (2026年度)	第3期かこがわ教育ビジョンの目標値と同値を設定
	ICTを活用した教育活動を毎日実施した学級の割合	—	100.0% (2026年度)	100%を目標値とする
(4)子育てと仕事の両立を支援する	子育てと仕事の両立について、自身の周りでは理解が進んでいると感じる市民の割合	—	70.0% (2026年度)	70.0%を目標値とする

【(新)基本目標2】

基本目標	基本目標指標	基準値	目標値	目標値設定の説明
“しごと” いきいきと働けるまち	ハローワーク加古川管内の就職件数	4,476件 (2019年度)	5,000件 (2026年度)	令和元(2019)年度を含めた直近3年間の平均を目標値とする

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	目標値設定の説明
(1) 若者等の就労を支援する	インターンシップ申込者数	615人 (2017・2018年度平均)	850人 (2026年度)	平成29(2017)年度からの3年間平均850人を目標値とする ※令和元(2019)年度は、G20大阪サミットの開催に伴い、本市が開催する合同企業説明会への参加者数が増加し、結果、インターンシップ申込者数が増加した。その数値を含めた平均値を目標とする
	合同就職面接会等の参加者数	164人 (2019年度)	200人 (2026年度)	200人を目標値とする
(2) 地域企業の成長を支援する	ものづくり支援センターにおける支援(相談)件数	128件 (2019年度)	150件 (2026年度)	令和元(2019)年度を含めた直近3年間の平均150件を目標値とする
	新商品・新製品開発及び販路拡大にかかる補助申請件数	106件 (2015～2019年度累計)	130件 (2021～2026年度累計)	第1期総合戦略の令和2(2020)年度までの目標値130件(累計)と同値を目標とする
(3) 起業・創業の促進や企業誘致を図る	創業支援ネットワークにおける支援(相談)件数	464件 (2015～2019年度累計)	780件 (2021～2026年度累計)	平成30(2018)年度、令和元(2019年度)の2年間の平均値130件を基に算出
	起業・創業件数	53件 (2019年度)	360件 (2021～2026年度累計)	毎年度60件を見込んで算出
	企業誘致・企業立地件数	3件 (2015～2019年度累計)	6件 (2021～2026年度累計)	毎年度1件ずつを目標とする
(4) 多様な働き方を支援する	サテライトオフィス・コワーキングスペースの整備数	1件 (2015～2019年度累計)	5件 (2021～2026年度累計)	6年間で5件の整備を目標とする
	ワーク・ライフ・バランス認定企業数	7件 (2015～2019年度累計)	6件 (2021～2026年度累計)	毎年度1件ずつ認定企業を増やすことを目標とする

【(新)基本目標3】

基本目標	基本目標指標	基準値	目標値	目標値設定の説明
“まち” 住みたいまち、行きたいまち	転出超過数(累計)	4,386人 (2015～2019年累計)	1,200人 (2021～2026年累計)	第2期人口ビジョンにおける将来人口の推計値から純移動率を基に社会動態に伴い減少する人口を算出
	加古川市に住み続けたいと思う市民の割合	64.9% (2019年度)	75.0% (2026年度)	75.0%を目標値とする

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	目標値設定の説明
(1)安全・安心なまちをつくる	刑法犯認知件数	2,025件 (2019年)	1,800件 (2026年)	令和元(2019)年の都道府県別人口千人あたりの刑法犯認知件数を基に、兵庫県平均以下を目指すこととし算出
	交通人身事故発生件数	1,369件 (2019年)	1,050件 (2026年)	令和元(2019)年の都道府県別人口千人あたりの交通人身事故発生件数を基に、兵庫県平均以下を目指すこととし算出
(2)暮らしやすさを実感できるまちをつくる	コミュニティ交通の利用者数	761,053人 (2019年度)	770,000人 (2026年度)	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数が減少している中、令和元(2019)年度の利用者数を維持することを目標とする
	加古川駅周辺の都心としての魅力に関して満足している市民の割合	41.3% (2019年度)	60.0% (2026年度)	60.0%を目標値とする
	マイナンバーカードの取得率	22.4% (2020年9月末時点)	100.0% (2026年度)	マイナンバーカード交付円滑化計画における令和5(2023)年度の目標値100%を設定
(3)楽しめるまちをつくり、人の流れをつくる	河川敷を活用した取組件数	15件 (2019年度)	120件 (2021～2026年度累計)	毎年度20件の取組を目標とする
	観光入込客数	2,205千人 (2019年度)	2,539千人 (2026年度)	第2次加古川観光まちづくり戦略における令和6(2024)年度の目標値2,464千人を基に算出
	スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境に関して満足している市民の割合	59.8% (2019年度)	70.0% (2026年度)	70.0%を目標値とする
(4)地域連携・官民等連携により 元気・魅力を高める	大学、企業と連携・協力して実施した取組数	39件 (2019年度)	270件 (2021～2026年度累計)	毎年度45件の取組を目標とする
	市民活動団体等への支援件数	14件 (2019年度)	108件 (2021～2026年度累計)	協働のまちづくり推進事業補助金の交付件数を挙げており、毎年度18件を目標とする
(5)市のイメージアップや認知度の向上を図る	地域に誇りや愛着を感じている市民の割合	65.0% (2019年度)	75.0% (2026年度)	75.0%を目標値とする
	ふるさと納税の寄附件数	8,305件 (2019年度)	14,500件 (2026年度)	毎年度1,000件の寄附件数の増加を目標とする
	公式SNSの登録者数	18,519人 (2020年9月末時点)	25,000人 (2026年度)	第2期人口ビジョンにおける将来人口の推計値(令和8(2026)年)の総人口の1割を目標とする